

[抄録様式]

公益財団法人 8020 推進財団	
平成28年度 歯科保健活動助成交付事業報告書抄録	
1. 事業名	成人期（二十歳）の歯、口腔の健康づくり推進事業
2. 申請者名	一般社団法人 西宮市歯科医師会
3. 実施組織	一般社団法人 西宮市歯科医師会
4. 事業の概要	学齢期終了後二十歳代前半までの歯科健診空白期間において歯科保健行動の向上とその変容を体得させることが、その後の良好な口腔保健の維持に繋がることを証明し、空白期間の歯科保健活動を地域行政の歯科保健体制に組み込み、切れ目のない保健事業を達成することを目的とする。
5. 事業の内容	<p>西宮市では歯周疾患検診を40才以後10才間隔で70才まで実施しており、後期高齢者についても75才、80才の時点で口腔機能判定が主であるが歯周疾患検診と類似した内容で健診を実施している。しかしながら、歯科疾患として学齢期終了後、一部の人間を除いて大多数の若人が何の健診も受診する機会がなく、疾病発生時以外は歯科受診がないことが、歯科疾患の自然増加に一役を科していることは否めない。</p> <p>西宮市歯科医師会では、市行政に対し過去数年来より成人健診の導入を要望しているが実施には至っておらず、20才代からの歯科健診の啓発、普及の一端として、市内に約8800人が通学している大学生に着目し、西宮歯科医師会協力会員（約100医療機関）の診療所において健診実施、保健指導を計画した。前年度はパイロット事業として武庫川女子大学・大学院を対象に本健診を試みた。結果として、健診時期、期間、健診案内方法に課題を残すものとなり、これらの改善に大学当局と忌憚のない情報交換を含めた意見交換を行う必要が生じ、次年度にこれらの反省点を活かしていくことで双方、理解が得られた。今年度は大学学生課を主体にせず、学生代表会に歯科健診、保健指導の情報を委ねて実施することになった。平成28年度事業においては、前年度と同一の大学での実施としたが、実施期間を2ヶ月間に延長して健診の受診機会を増大したところ、期待に反して受診者は94名にとどまった。</p>
6. 実施後の評価（今後の課題）	今回の大学生対象の検診結果を見ると、対象学生数8,800人に対し受診者が94人という結果（1.1%）となり、前年度の113人（1.3%）よりも受診率が低下した。今後は健診対象を他大学へ拡大することも検討しながら、当該事業の方向性を確立させる必要がある。